

- 主催者 關東労働組合會議  
 菊川忠雄氏
- 辯士 日本労働組合同盟 菊川忠雄氏  
 總聯合關東地方聯合會 高山久藏氏  
 東京市電自治會 島上善五郎氏 秋和松五郎氏  
 日本労働組合評議會 渡邊義通氏 菊田善次郎氏  
 東京市従業員組合 大道憲治氏 小野庄造氏  
 其他各組合略

### 二、日本労働組合同盟

野田争議に對して同盟機關紙「工場と鑛山」(第二卷第一號昭和三年二月發行)紙上に左記の如く記してあるを以つて其の態度と立場を知る事が出来る。

持久百五十日！ 野田の兄弟を慰問せよ！

(前略) 我が同盟は或は單獨に、或は友誼團體と協力して、野田の兄弟のために起たんことを計り、屢々總同盟の幹部諸君に通じたが、「しばらく待つてくれ」とのことと間接に應援をするの止むなき立場にある。關東消費組合聯盟の主催による應援演說會參加、慰問狀、慰問使の派遣、義捐金の募集、關東労働組合會議による應援方法の促進等は着々實現しつつある。われらは許されたる範圍に於て、野田の兄弟に階級的義務を果されなければならない。争議の勝利のためにも、また、争議團家族の慰問のためにも、吾等の援助は絕對に必要だ。われらは前に各支部に對して、義捐金の募集を指令した。各支部は即時義捐金を送れ。

### 三、官業労働總同盟

昭和三年三月十日の第十回全國大會に緊急動議として野田争議應援を可決し左記の如く寄附金の募集と激電を發した。

電文 死を屠して戦へ、最後に勝利あり

官業労働總同盟第十回全國大會  
 寄附金額 十五圓七十一錢

### 四、武相労働聯盟

野田争議に對しては本聯盟は最も積極的であつた。

△工信會慰問 昨年(二年)十二月二十六日會長酒井平氏は十二月中會内に於て募集した左記金額を携へ野田町に争議團を慰問した。

一金、二百三十九圓十三錢也

△工信會並工愛會義捐會を贈る  
 工信會 六百八十圓四十錢也  
 工愛會 五百三十四圓也(合計一千二百十九圓四十錢也)

右金額を三月二十七日、二十九日に原一耶氏、酒井庄平氏、山口工愛會出版部長の手によつて争議團に贈られた。

△機關紙「武相聯盟」號外を三月十八日發行「龜甲萬を買ふな」「野田の兄弟を殺すな」と題して積極的に應援につとめた。

### 五、日本司厨同盟

機關紙「同盟」第二十七號(昭和三年四月)紙上に野田争議に關し左の如き記事がある。

野田争議應援資金募集